

PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の取組について

1 令和元年度第1回豊田市PCB処理安全監視委員会における指摘事項とその対応について

前回の安全監視委員会では、処理計画の掘り起こし見込量はあくまで見込みであり、未回答が何件残っているのかということがわからないと不安なので、掘り起こしのデータを示して、かつ確実に処理を実行していただかなければならない、というご意見をいただきました。

については、掘り起こしを含めた関係者と連携した処理促進の取組とその成果を別紙1のとおり整理しましたのでご説明します。また、前回示した処理計画に対する実績を別紙2によりご報告します。

2 令和元年度第1回豊田市PCB処理安全監視委員会以降の広域協議会の取組について

令和2年2月3日に令和元年度第2回PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会を開催しました。概要は別紙3のとおりです。

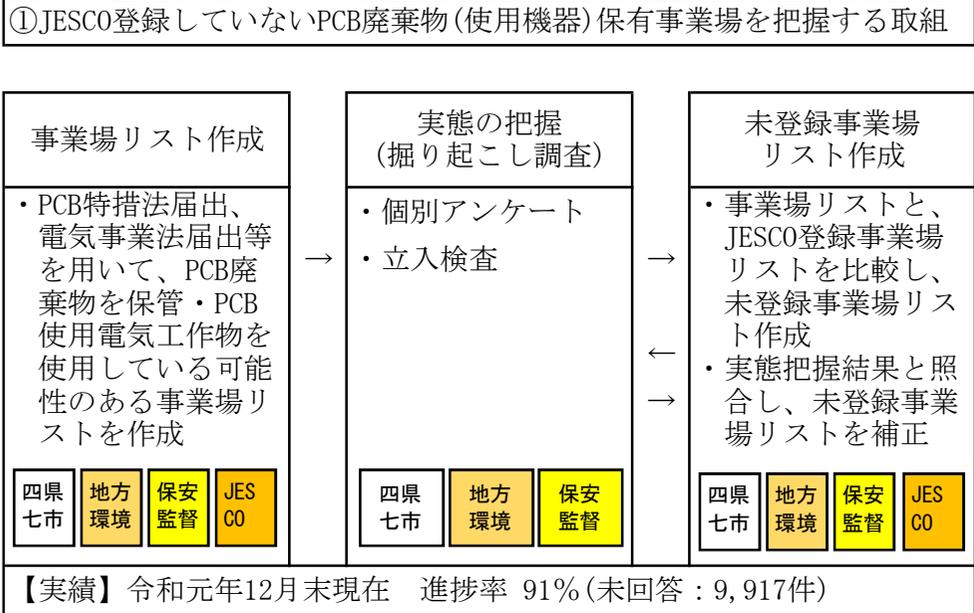
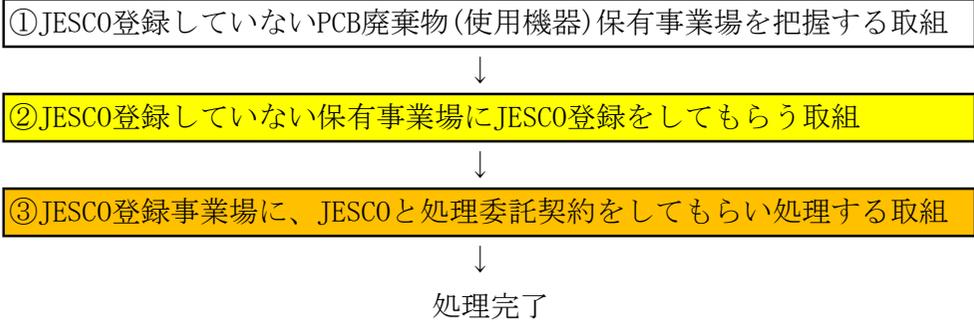
日時：令和2年2月3日（月）午後3時5分から午後5時15分まで

場所：愛知県自治センター

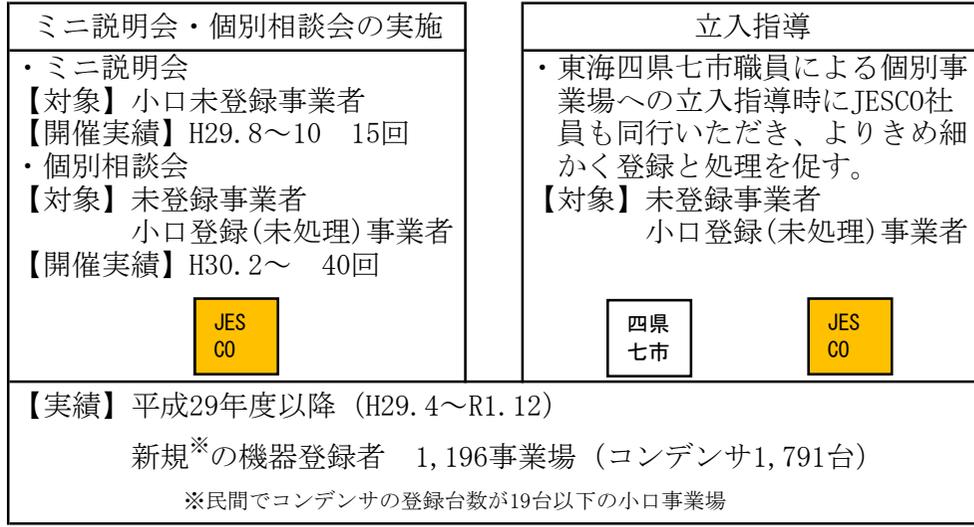
- 議事：（1）PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について
（2）豊田市PCB処理安全監視委員会への報告について
（3）PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の
決算及び予算について
（4）その他

東海四県七市等とJESCO豊田が一体となったPCB処理促進の取組

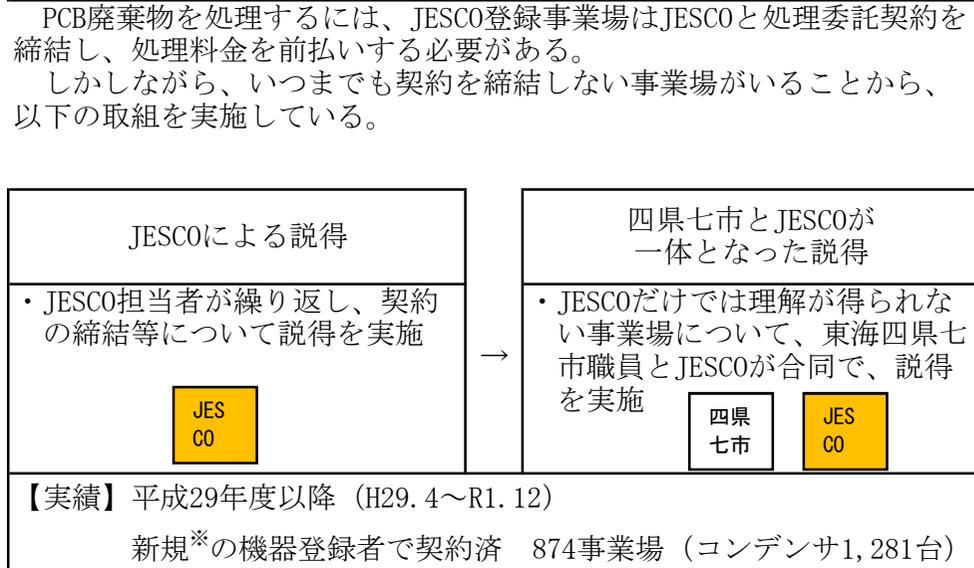
PCB廃棄物をJESCO豊田で処理するためには、以下の3段階の取組が必要であり、東海四県七市（四県七市）、環境省中部・関東地方環境事務所（地方環境）、経済産業省中部近畿・関東東北産業保安監督部（保安監督）とJESCO豊田（JESCO）が一体となって取組んでいる。



②JESCO登録していない保有事業場にJESCO登録をしてもらう取組



③JESCO登録事業場に、JESCOと処理委託契約をもらい処理する取組



○東海地区PCB廃棄物処理計画【特措法届出・未登録、電事法届出・未登録、掘起見込量含む】

別紙2

2019年6月末現在

区分		未搬入量(残存量)				処理計画(※8)				
		JESCO登録 未搬入量(※1) (保管中・使用中)	特措法届出・ 未登録(※2) (保管中)	電事法届出・ 未登録(※3) (使用中)	掘起見込量 (※4)	2019年度 (令和元年度) 7月以降	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
変圧器類	台	222	176	24	0	22	7月-12月 実績:42 126	82	14	—
コンデンサー類	台	6,393	5,862	263	136	132	7月-12月 実績:2,141 4,030	1,632	731(※9)	—
廃PCB	本	704	259	445(※5)	—	—(※7)	7月-12月 実績:123 166(※10)	310(※10)	228(※10)	—
	kg	2,576	—	2,576(※5)	—	—(※7)	0	1,288	1,288.0	—
保管容器	箱	1,191	1,191	—(※6)	—	—(※7)	7月-12月 実績:213 568	617(※11)	6(※12)	—

【留意事項】

※1 JESCO登録未搬入量は、2019年6月末現在、JESCOに登録があるが、未搬入の量を記載。【搬入ベース】

※2 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2018(平成30)年3月末データ)

※3 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2017(平成29)年3月末届出)※未更新のため昨年と同数値。

※4 各自治体で掘り起こし調査の実績等から処理年度ごとに算出。

※5 各自治体でJESCO登録情報と届出情報を突合し、JESCO登録がない数量を算出。

※6 容器のみの保管事例が少なく、届出情報から保管容器の抽出が困難なため計上なし。

※7 北九州地域の集計が無く、掘り起こし調査で発見されることが稀であるため計上なし。

※8 JESCO登録済みの未搬入廃棄物は、JESCOが把握している年度ごとの搬入予定量を計上し、JESCO登録が未だの廃棄物は、各自治体で処理年度ごとに配分。

※9 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定のコンデンサー266台は2021(令和3)年度に配分。

※10 大型金属容器7基に収納の処理困難PCB油について、2019(令和元)年度:2基(ドラム缶約85本分)、2020(令和2)年度:3基(ドラム缶約130本分)、2021(令和3)年度:2基(ドラム缶約78本分)に配分。

※11 処理困難物である泥状物が付着したスクラップ状ドラム缶547缶について2020(令和2)年度に配分。

※12 JESCO登録事業場のうち交渉困難事業場のため、処理時期が未定の保管容器4箱について2021(令和3)年度に配分。

令和元年度第 2 回広域協議会議事録（概要）

1 PCB 廃棄物処理事業の状況報告等について

- JESCO から、豊田事業所における処理実績の報告及び少量保管事業者への個別対応状況についての説明があった。
→特に意見等はなかった。
- JESCO から、北九州事業所における処理実績の報告及び次年度の処理計画についての説明があった。
→特に意見等はなかった。

2 豊田市 PCB 処理安全監視委員会への報告について

- 事務局から、前回の安全監視委員会の指摘事項を踏まえた、関係者と連携した処理促進に関する取組について説明があり、協議するとともに、委員会で説明する旨を確認した。また、令和元年度の処理計画に対する実績を報告があり、計画通り処理できる見通しであることを確認した。
→ 特に意見等なかった。

3 PCB 廃棄物処理事業に係る東海地区広域協議会の決算及び予算について

- 事務局から、令和元年度の事業報告案及び決算の承認方法案について説明し、協議した。また、豊田市から、令和元年度の JESCO 豊田 PCB 処理事業所周辺環境モニタリング調査結果の概要について報告があった。
→ 特に意見等なく承認された。
- 事務局から、令和 2 年度の事業計画案及び予算案について説明があり、協議した。
→ 県市から、広報の対象や媒体について、自家用電気工作物設置者のみでなく広く周知できるものとするべきなどの意見があり、継続協議することとなった。

4 その他

- JESCO 登録事業者のうち、処理を進めない事業者に対して、引き続き県市と協力して対応したいとの説明があった。